News Release

2019 年 10 月 18 日

ランクセス、本年度も東北復興支援の一環として 小学生を対象に「化学実験教室」を岩手県内で開催

ランクセス株式会社

芸術・科学分野における優秀な若者の育成は、持続可能な社会の発展に重要な役割を果たしています。ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス（LANXESS）は、社会的責任（CSR）活動の一環として、岩手県・下閉伊郡山田町で小学生を対象にした化学実験教室「つくってまなぼう！わくわく実験教室」を開催しました。今回の実験教室は、8 月 24 日（土）、山田町立轟木児童館および山田町ふれあいセンター「はぴね」の 2 箇所にて、地元の一年生から六年生までの小学生を含む計 26 名の児童が参加して行われました。ランクセスは、2014 年から毎年、宮城県や岩手県内で化学実験教室を開催してきましたが、6 回目となる今年は、昨年に続き公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（本部事務所：東京都千代田区、以下セーブ・ザ・チルドレン）との共催で、岩手県内での開催となりました。

この化学実験教室は、子どもたちに楽しみながら化学の知識を学んでもらうことを目的にしたもので、今回は「自然にやさしいエネルギー実験！」をテーマに計 2 回開催しました。実験教室は、2 つの要素からなり、前半は「空気とは何か？」「空気から作られるエネルギー」などの要素を学ぶため、ペットボトルと風船を使った空気砲作りなどを実施。実験教室の後半は、ペットボトルを使用してプロペラを作り、小型モーターをつなげて風力発電実験を行いました。ペットボトルで作ったプロペラで風を起こし、LED ライトを点灯させたり、電圧計を使って発電量を計測する実験を行いました。

ランクセスの日本法人 ランクセス株式会社の代表取締役社長である辻 英男は、次のように述べています。「弊社は、継続的な支援活動を通して、若者たちがその才能を伸ばすための機会を提供して参りました。これからも、すべての子どもたちに質の高い高等教育の機会を提供するという持続可能な開発目標に向かって、教育分野への支援を続けてまいります」

ランクセスは、東日本大震災により被災した子どもたちの支援を目的に、2011 年よりセーブ・ザ・チルドレンの活動を支援しています。その支援活動を通して、被災地の復興が進む中、子どもたちへ、さらなる支援の拡充を目指し、2014 年から宮城県内で、2017 年からは岩手県内で化学実験教室を開催するプロジェクトを実施してきました。本年度は、2019 年 5 月に社内を横断するメンバー14 名によるプロジェクトチームを立ち上げ、実験教室の企画・準備を進め開催に至りました。

■化学実験教室の開催概要

【名　称】「つくってまなぼう！わくわく実験教室」
【主　催】 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
　　山田町ふれあいセンター「はぴね」
　　ランクセス株式会社
【日　程】 2019 年 8 月 24 日（土）
【場　所】 岩手県・下閉伊郡山田町町立轟木児童館及び
　　山田町ふれあいセンター「はぴね」
【対　象】 岩手県・下閉伊郡山田町内の小学一年生～六年生を含む児童 26 名
【内　容】
「自然にやさしいエネルギー実験！」をテーマに空気の性質や空気から作られるエネルギーについて学び、風力発電実験を通して自然エネルギーについて学ぶ。（所要時間：約 1 時間半）
① 講座「空気とは何か？」「空気から作られるエネルギー」など
② ペットボトルと風船を使った空気砲作り
③ ペットボトルとモーターを使った風力発電実験

山田ふれあいセンター「はぴね」での
化学実験教室の様子
（写真：ランクセス株式会社）

山田町立轟木児童館での
化学実験教室の様子
（写真：ランクセス株式会社）

ランクセスの教育支援プロジェクト

ランクセスグループは、2008 年に世界的な教育イニシアチブを発足させ、今年で 11 年目を迎えました。
日本では、小澤征爾氏の主催する「小澤国際室内楽アカデミー奥志賀（OICMA）」を 2011 年の設立時より支援し、本年度も契約を延長したことを発表しています。ランクセスは 2011 年の設立以来、才能ある未来の音楽家に優れた教育を受ける機会を提供するための支援を続けています。オーディションで選抜されたアカデミー生たちは、世界的にも有数の指揮者である小澤征爾氏をはじめとする、著名な音楽家たちの指導を受けることができます。

また、中国では、貴重な水資源保護をテーマとした学生コンペティションである「Clean water for a better life（きれいな水で生活をより豊かに）」プロジェクトへの支援を続け、2019 年で 5 度目となります。このコンペティションの目的は、水質汚染への意識を高め、革新的なソリューションを開発し、環境や水域、飲料水を保護することにあります。ランクセスは資金の提供だけではなく、社内の専門家を派遣し、参加チームの研修や指導を行っています。

ランクセスはさらに、南アフリカにおいて、教育支援「アイ・アム・サイエンス」プロジェクトに賛同し、科学者という仕事に関心を持ってもらうための取り組みを行っています。ドイツのゲーテ・インスティチュートが設立したこのプロジェクトでは、10 年生（日本の高校 3 年生に該当）以上の女子生徒を対象に、彼女らが科学に興味を持てるよう、化学や物理を実践的に紹介しています。「アイ・アム・サイエンス」プロジェクトでは、これまで 200 人を超える女子生徒たちに実験を通じて科学の世界を紹介し、新たな経験の機会を提供しています。

ランクセスの SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

2015 年に国連持続可能な開発サミットで採択された SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」における 17 の目標では、4 番目に「質の高い教育」という目標を掲げています。ランクセスグループでは、2015 年の制定当初から SDGs に掲げる 17 全ての開発目標に取り組むことを表明し、事業活動、社会貢献活動を通して推進してまいりました。

ランクセスは、被災地の一日も早い復興を願い、今後も支援活動を継続してまいります。

# # #

ランクセスについて

ランクセスについての詳細は同社 URL にてご確認下さい。
www.lanxess.co.jp

ランクセス株式会社について

ランクセス株式会社は、ドイツに本社を置くランクセスグループの日本法人として、国内で 10 のビジネスユニットを展開しています。主な事業として、世界の生産拠点から化学品を輸入し、幅広い製品群を自動車、タイヤ、IT、電機・電子製造など、日本のさまざまな業界に向けて販売しています。東京・丸の内に本社をおき、豊橋、姫路に事業所をおいています。ランクセス株式会社についての詳細は同社 URL にてご確認下さい。
www.lanxess.co.jp

本件に関するお問い合わせ先

ランクセス株式会社　コーポレートコミュニケーションズ
TEL : 03-5293-8005　FAX : 03-5219-9773
lanxess.japan@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statements)
本プレスリリースには、ランクセスの予測、見解、期待、そして第三者からの引用を含む、予測・予定事項の記述がございます。様々な既知あるいは予測不能なリスク、不確定要素、またその他の要因により、実際に発生する結果、財務状態、発展及び業績が、本資料に記載の予測・予定事項と大幅に異なる可能性があります。本資料に示される将来予測に関する意見の正確性や進展が実際に起こりえるかどうかに関しても責任を負うものではありません。ここに示されたいかなる情報、予測、推定、目標、意見に関して、明示的あるいは黙示的な表明や保証を行うものではありません。そのため、これらの記述につきまして、本資料の記載事項に全面的に依存されることは控えて頂きますようお願いします。本資料に示したいかなる脱漏、誤った記述に関しても責任を負いかねます。また、この資料を使用することによる直接的あるいは間接的に生じる事項に関して、ランクセスとその関連会社、役員、責任者、従業員は一切の責任を負いかねますので、併せてご了承いただきますようお願い申し上げます。

その他の情報
ランクセスのニュースリリースは www.lanxess.co.jp の”プレスリリース”項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は http://photos.lanxess.com（英語）より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。http://multimedia.lanxess.com（英語）
ランクセスのウェブマガジンは下記でご覧いただけます。
http://webmagazine.lanxess.co.jp

ランクセスの Facebook、Linkedin、Twitter、Youtube の公式ページは下記サイトをご覧ください。
http://www.twitter.com/LANXESS_JP（日本語）
http://www.facebook.com/LANXESS（英語）
http://www.linkedin.com/company/lanxess（英語）
http://www.youtube.com/LANXESSTV（英語）

(2019-J00005J)